

学域名	人間社会学域
学類名	経済学類

**学類のディプロマポリシー(学位授与方針)**

以下の7つの人材養成目標を掲げ、この人材養成目標に到達した者に学士(経済学)の学位を授与する。

1. 幅広い教養、知識、判断力を持った社会で活躍できる人材を養成する。
2. 経済学・経営学の専門知識を持った人材を養成する。
3. 現代社会に対する強い問題意識をもち、自分自身の方で課題を発見し、解決する能力をもった人材を養成する。
4. 高いコミュニケーション能力(外国語によるものも含む)、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。
5. 地域社会が抱える問題に強い関心をもち、そこに積極的に関わることでできる人間性豊かな人材を養成する。

**学類のCP(カリキュラム)編成方針**

【2018年度の入学者】年次に、国際経済教育院での勉学および語学力の向上に集中するとともに、入門的な専門科目を履修する。2年次から本格的に開始される専門教育のカリキュラムは、人材養成目標1に鑑みて、幅広い知識を会得するとともに、人材養成目標2にあるように、各自の興味関心を深める専門性の確立を目的にプレキンプル履修科目が選択できるよう設計されている。履修科目の選択に際して適切な科目選択が求められる。年次別、アドバイザー教員と面談する機会が確保されている。2年次の01から03にかけては専門共通科目を優先的に履修しつつ、2年次04からの演習(副題)に向けた関心を養う。3年次04に、専門知識をより深めにつなぐべく、エコノミクスコースもしくはグローバル・マネージメントコースに所属する。エコノミクスコースでは理論・実務両面をカバーするグローバル系科目を重点的に履修する。演習では、各自の関心に則して専門分野をより深く探求し、調査研究活動や論文執筆等に取り組み、演習での研究活動を通して、人材養成目標3、4、5の実現が期待される。なお、人材養成目標3および4の実現をめざして、経済学類で提供されている科目の一部には能動的学習が導入されている。また、海外語学研修やインターシップも単位化されている。

**学類の学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することが求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)**

1. 幅広い経済学・経営学、経済学の組織のしくみとしくみを学ぶに必要となる基礎的な考え方や分析手法を修得する。
2. 経済学・経営学、経済学の組織のしくみとしくみを学ぶに必要となる基礎的な考え方や分析手法を修得する。
3. 経済学・経営学、経済学の組織のしくみとしくみを学ぶに必要となる基礎的な考え方や分析手法を修得する。
4. 経済学・経営学、経済学の組織のしくみとしくみを学ぶに必要となる基礎的な考え方や分析手法を修得する。
5. 経済学・経営学、経済学の組織のしくみとしくみを学ぶに必要となる基礎的な考え方や分析手法を修得する。
6. 経済学・経営学、経済学の組織のしくみとしくみを学ぶに必要となる基礎的な考え方や分析手法を修得する。
7. 経済学・経営学、経済学の組織のしくみとしくみを学ぶに必要となる基礎的な考え方や分析手法を修得する。
8. 経済学・経営学、経済学の組織のしくみとしくみを学ぶに必要となる基礎的な考え方や分析手法を修得する。
9. 経済学・経営学、経済学の組織のしくみとしくみを学ぶに必要となる基礎的な考え方や分析手法を修得する。
10. 経済学・経営学、経済学の組織のしくみとしくみを学ぶに必要となる基礎的な考え方や分析手法を修得する。
11. 経済学・経営学、経済学の組織のしくみとしくみを学ぶに必要となる基礎的な考え方や分析手法を修得する。
12. 経済学・経営学、経済学の組織のしくみとしくみを学ぶに必要となる基礎的な考え方や分析手法を修得する。

**学類のカリキュラム**

科目番号	授業科目名(2018年度入)	授業科目の主題 への授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等	学生の学習目標	学年	単位	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○
10101	学域GS言語I	The Humanities GS Language Course (HGSL) I aims at development of English proficiency achieved in the first-year GS language classes, as well as acquisition and practice of basic knowledge and skills which the majored academic discipline requires. This course is closely linked with the HGSL II, focusing more on understanding the discipline of the specific academic field than on its practical application.	Students who have completed the course will have English reading, listening, and grammar competency corresponding TOEIC score range: 550-600.	2	1	◎											
10201	学域GS言語II	The Humanities GS Language Course (HGSL) II aims at further development of English proficiency achieved in the first-year GS language classes, as well as acquisition and practice of more advanced knowledge and skills which the majored academic discipline requires for presentation and essay writing. This course is closely linked with the HGSL I, emphasizing the critical analysis of research subjects of the specific academic area.	Students who have completed the course will have English reading, listening, and grammar competency corresponding TOEIC score range: 600-650.	2	1	◎											
13501	基礎統計学	経済分析に使われる統計手法の基礎を学習する。	基礎的な統計計算が一通り出来るようになる。	2	2		◎				△					○	○
13502	マクロ経済学 I	マクロ経済学を中心として経済学の基礎的な考え方や分析手法を学ぶ。	1. 市場経済の機能と基礎的なマクロ経済学を体系的に身につけることができる。 2. マクロ経済学に関する基礎的な理解し、自分の方でそれらを現実経済に適用し、議論を展開することができる。	2	2	◎	◎			○	○					○	
13503	ミクロ経済学 I	市場の仕組みを理解する	ミクロ経済学を学習する上で必要となる諸概念を理解することができるようになる。 1. 需要曲線の概念を理解することができるようになる。 2. 供給曲線の概念を理解することができるようになる。	2	2	◎	◎		△	△	○	○					
13504	Basic Economics A	To learn basic theories on economy.	To know concepts used in the courses of the school of economics.				◎										
13601	経済学史	経済思想の形成過程の検証	近代の成立とセットで成立した経済思想を学ぶことにより、近代の意味について考える。	2	2	○				○	◎						
13602	日本経済論	現代日本経済に生じた事象の因果関係を理解する	1. 戦後日本経済の要因を理解できるようにする。 2. 事象を複眼的に捉えることができるようになる。	2	2	○	◎		△	◎		△					
13603	経営学概論	経営組織論・経営管理論・経営戦略論の概要とこれらに関連領域における基礎的知識の伝授	経営組織論・経営管理論・経営戦略論とこれらに関連領域における代表的概念と学説、理論の系譜を理解する。				◎			◎							
13604	Basic Economics B	To learn basic knowledge on economy.	To acquire knowledge prerequisite for the courses of the school of economics.				◎										
23001	経済学入門	ミクロ経済学とマクロ経済学を体系的に学ぶための下準備	1.ミクロ経済学やマクロ経済学で使われる基本的な用語の概念を理解する。 2.ミクロ経済学やマクロ経済学を学ぶために最低限必要な数学ツールを習得する。	1	1		◎	◎									
23002	経営学入門	現代の企業とその経営に関する基本的な知識と基礎理論の紹介	現代の企業がどのように設立され成長し発展するかを理解する。	1	1	○	◎										
23003	情報処理	情報化社会の進展に伴い、情報処理能力を高めるために、パソコンを正しくかつ有効に活用することを目指す。	1. 情報処理に対する基本的な知識を得ることができる。 2. パソコンの基本操作が可能になる。 3. 最適化問題に対する解法ツールが操作できる。	2	1		△			○						○	◎
23100	演習				3	8											
23200	卒業研究				4	2											
23210	海外語学研修A	海外滞在経験を通じて、国際経済社会への理解を深めるとともに、外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	1. 海外での経験を通じて、国際経済社会への理解を深める。 2. 外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	2	2				○							○	◎
23211	海外語学研修B	海外滞在経験を通じて、国際経済社会への理解を深めるとともに、外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	1. 海外での経験を通じて、国際経済社会への理解を深める。 2. 外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	2	3				○							○	◎



学域名	人間社会学域
学類名	経済学類

学類のキャリアポリシー(学位取得方針)

以下の7つの人材養成目標を掲げ、この人材養成目標に到達した者に「学士(経済学)」の学位を授与する。

1. 幅広い教養、知識、判断力を持った社会で活躍できる人材を養成する。
2. 経済学・経営学の専門知識を持った人材を養成する。
3. 現代社会に対する強い問題意識をもち、自分自身の力で課題を発見し、解決する能力をもった人材を養成する。
4. 高いコミュニケーション能力(外国語によるものも含む)、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。
5. 地域社会が抱える問題に強い関心をもち、そこに積極的に関わることで人間性豊かな人材を養成する。

学類のCP(カリキュラム)編成方針

【2018年度の入学者】1年次には、国際経済教育院での勉学および語学の向上に集中するとともに、入門的な専門科目を履修する。2年次から本格的に開始される専門教育のカリキュラムは、人材養成目標1に鑑みて、幅広い知識を会得するとともに、人材養成目標2にあるように、各自の興味関心を深める専門性の確立を目的にプレキリント履修科目が選択できるような設計されている。履修科目の選択に際して適切な科目選択がなされるよう、年2回、アドバイザー教員と面談する機会が確保されている。2年次の01から03にかけては専門共通科目を優先的に履修し、2年次4月からの演習期間に向けた関心を養う。3年次4月に、専門知識をより深く身につけるべく、エコノミクスコースもしくはグローバルコース(インターナショナルコース)に配属される。エコノミクスコースでは理論・政策科目およびグローバル系科目の、グローバル・マネジメントコースではマネジメント系科目およびグローバル系科目の専門科目を重点的に履修する。演習では、各自の関心に則して専門分野をより深く探求し、調査研究活動や論文執筆等に取り組み、演習での研究活動を通して、人材養成目標3、4、5の実現が期待される。なお、人材養成目標3および4の実現をめざして、経済学類で提供されている科目の一部には能動的学習が導入されている。また、海外語学研修やインターンシップも単位化されている。

学類の学習成果(◎:学習成果を上げるために履修することが求められる科目、○:学習成果を上げるために履修することが求められる科目)

1. 幅広い教養、知識、判断力を持った社会で活躍できる人材を養成する。 2. 経済学・経営学の専門知識を持った人材を養成する。 3. 現代社会に対する強い問題意識をもち、自分自身の力で課題を発見し、解決する能力をもった人材を養成する。 4. 高いコミュニケーション能力(外国語によるものも含む)、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。 5. 地域社会が抱える問題に強い関心をもち、そこに積極的に関わることで人間性豊かな人材を養成する。

学類のカリキュラム

科目番号	授業科目名(2018年度入学生)	授業科目の主題 への取組科目の中心となる題目・問題・テーマ等	学生の学習目標	学年	単位	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○
45120	農業経済論II	農業近代化に関わる農業問題に対する社会経済学的視点の紹介	1.農業と資本主義発展について、社会経済学的に理解する。 2.農業・農村と社会発展、農業の環境問題、資料問題について理解する。	2	1	△													
45121	農業政策論I	農業政策の歴史的展開と手法の変遷	1.農業政策形成の歴史的背景とその変遷について、社会経済学的に理解する。 2.特に、価格・所得政策と構造政策について知見を広げ、農業、農村、農業経営のあり方について考えることができるようになる。	2	1	△													
45122	農業政策論II	農業政策の歴史的展開と手法の変遷	1.農業政策形成の歴史的背景とその変遷について、社会経済学的に理解する。 2.世界経済の中の農業、農村、農業と環境の諸問題について知見を広げ、消費者の視点、地域社会の視点から農業、農村のあり方について考えることができるようになる。	2	1	△													
45123	社会政策論I	社会政策に関する理論、思想、歴史的展開、政策体系	*社会政策形成と歴史的背景を理解する。 *今日の雇用・失業の現状について統計資料を用いて分析する力を身につける。 *雇用・失業に関する社会政策は歴史的にどのように発展してきたかについて理解する。 *雇用・失業政策をめぐる今日の対抗について理解するとともに、望ましい雇用・失業政策について自らの見解を述べるようにする。	2	1	○													
45124	社会政策論II	社会政策に関する理論、思想、歴史的展開、政策体系	*社会政策形成と歴史的背景を理解する。 *今日の雇用・失業の現状について統計資料を用いて分析する力を身につける。 *雇用・失業に関する社会政策は歴史的にどのように発展してきたかについて理解する。 *雇用・失業政策をめぐる今日の対抗について理解するとともに、望ましい雇用・失業政策について自らの見解を持てるようにする。	2	1	○													
45125	社会保障論I	社会保障の概念、存立根拠、機能と役割、歴史、経済・財政とのかわりなど、社会保障における総論部分の基本的な内容について取り上げる。	現代社会において社会保障が国民生活、国民経済とどのようなかわり、いかなる役割を果たしているのかを理解する。	2	2	○	△	○											
45126	社会保障論II	医療保険、年金、介護保険を中心に、社会保障を構成する各制度の具体的な仕組みと現状及び課題について取り上げる。	社会保障の各制度について、具体的な仕組みを踏まえ、それぞれの制度の政策課題について理解する。	2	2	○	△	○											
45200	世界経済論	20世紀の世界経済の展開	20世紀以降の世界経済の展開と概要を、経済理論、政治経済思想、豊かな国とそうでない国との関係性などを通して理解する。	2	2	◎	△	△											
45201	グローバル・エコノミー	21世紀・発展途上国経済を巡る世界の動き	1. 発展途上国を中心に世界経済の現状について学ぶ。 2. 公的セクター、企業セクター、市民社会セクターの3つの視点から発展途上国政策について理解する。 3. 世界経済および発展途上国経済を理解するための統計とその利用方法について学ぶ。	2	2	◎	△	△											
45202	アジア経済論	アジアの経済発展のダイナミクスを、金融経済、国際経済、開発経済の視点から講義する。	1.アジア地域の経済発展について、貿易・為替・金融・政府の役割を理解することができる。 2.アジア地域における経済統合化について、その特徴や地域内各国経済への影響を理解することができる。	3	2	◎	○	◎											
45203	国際金融論	国際金融の基礎構造	国際金融の基本的概念を整理理解する。	2	2			◎											
45204	国際金融史	国際金融史と現状の検討	現行制度の根拠にある国際金融システムの変遷を理解し、変遷し続ける現在の世界的課題を考察する。	2	2			◎											
45205	国際経済学1E	The basic theory of International Economics	This class is designed for students to understand the basic theories in international economics.	2	1			○	◎										
45206	国際経済学2E	Policy Analysis in International Economics	This class is designed for students to apply the basic theories in international economics to policy analysis.	2	1			○	◎										
45207	国際政治経済論	国際公共財に関する各論	国際法、国際機構、対上国援助など、現代世界における主要な国際公共財について、具体的に理解することができる。	2	2	◎													
45208	国際公共政策論	ヘグモニー国家を中心に見る近代国際政治経済の歴史と国際関係理論	1. 国際政治経済秩序の根幹を成す「国際公共財」につき、①「国際公共財」とは何か、②「国際公共財」の形成・発展過程について理解することができる。 2. 国際政治経済学の代表的理論について理解することができる。	2	2	◎													
45209	比較地域経済論	代表的な国際公共財としての国際法と国際機関	国際経済法を中心とした国際法、および国連を始めとする国際機関、についてそれぞれ機能や効用、問題点を理解することができる。	2	2	○													
45210	国際貿易論1E	The basic theory of International Trade	This class is designed for students to understand the basic theories in international trade.	2	1			○	◎										
45211	国際貿易論2E	Analysis of Trade Policy	This class is designed for students to obtain the skills to discuss trade policies based on the standard economic theories.	2	1			○	◎										
45212	国際開発論1E	The Main objective of this course is to understand theories of international development which tries to improve the economic and social situation of developing countries.	Students who take this course are supposed to understand theories of international development.	2	1	◎		○	◎										
45213	国際開発論2E	The Main objective of this course is to understand theories of international development which tries to improve the economic and social situation of developing countries.	Students who take this course are supposed to understand theories of international development.	2	1	◎		○	◎										
45214	アジア経済史AI	中国を例に近代アジア経済史の基礎知識を学ぶ。	近代アジアにおける資本主義的経済発展について再考することを目標とする。	2	1			○	○										

学域名	人間社会学域
学類名	経済学類

**学類のディプロマポリシー(学位授与方針)**

以下の5つの人材養成目標を掲げ、この人材養成目標に到達した者に学士(経済学)の学位を授与する。

- 幅広い教養、知識、判断力を持った社会で活躍できる人材を養成する。
- 経済学・経営学の専門知識を持った人材を養成する。
- 現代社会に対する強い問題意識をもち、自分自身の方で課題を発見し、解決する能力をもった人材を養成する。
- 高いコミュニケーション能力(外国語によるものも含む)、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。
- 地域社会が抱える問題に強い関心をもち、そこに積極的に関わることでできる人間性豊かな人材を養成する。

**学類のCPAカリキュラム編成方針)**

【2018年度の入学者】年次には、国際経済教育院での勉学および語学の向上に集中するとともに、入門的な専門科目を履修する。2年次から本格的に開始される専門教育のカリキュラムは、人材養成目標1に鑑みて、幅広い知識を会得するとともに、人材養成目標2にみるように、各自の興味関心を深める専門性の確立を目的にレギュラー履修科目が選択できるよう設計されている。履修科目の選択に際して適切な科目選択がなされるよう、年2回、アドバイザー教員と面談する機会が確保されている。2年次の01から03にかけては専門共通科目を優先的に履修しつつ、2年次04からの演習科目に向けた関心を養う。3年次4月に、専門知識をより深く身につけるべく、エコノミクスコースもしくはグローバル・マーケティングコースに配属される。エコノミクスコースでは理論・実務系科目およびグローバル系科目群の、グローバル・マネジメントコースではマネジメント系科目群およびグローバル系科目群の専門科目を重点的に履修する。演習では、各自の関心に則して専門分野をより深く探求し、調査研究活動や論文執筆等に取り組み、演習での研究活動を通して、人材養成目標3、4、5の実現が期待される。なお、人材養成目標3および4の実現をめざして、経済学類で提供されている科目の一部には能動的学習が導入されている。また、海外語学研修やインターンシップも単位化されている。

学類の学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)

**学類のカリキュラム**

科目番号	授業科目名(2018年度入生)	授業科目の主題 への取組科目の中心となる題目・問題・テーマ等	学生の学習目標	学年	単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
45215	アジア経済史AII	中国を例に近代アジア経済史の基礎知識を学ぶ。	近代アジアにおける資本主義的経済発展について再考することを目標とする。	2	1			○	○			○	◎			△	
45216	アジア経済史B I	近現代中国における資本主義化・工業化の特徴。	近現代東アジアにおける資本主義的発展の意義について理解することを目標とする。	2	1			○				○	◎			△	
45217	アジア経済史B II	近現代中国における資本主義化・工業化の特徴。	近現代東アジアにおける資本主義的発展の意義について理解することを目標とする。	2	1			○				○	◎			△	
45218	日本経済史	近代日本経済に生じた事象の因果関係を理解する。	1. 日本帝国主義を含む戦前日本経済の素相を理解できるようにする。 2. 事象を複眼的に捉えることができるようになる。	2	2			◎	○			○	△			△	
45219	社会言語学	日常的な日本語から日本社会を見る	日本語と日本社会との関連を見ることを養うことを目標とする。	2	2			○								○	
45220	対照社会言語学	対応する場面で使用される日本語と外国語を比較する。	日本語と外国語の発想性の異同を分析できるようにする。	2	2			○				○				○	
45300	経営管理論	経営管理理論の潮流	企業において経営管理がいかに実践されてきたのか、理論と実践の両面から理解できるようにする。	2	2			◎		◎		○	△	○			
45301	人的資源管理論	日本企業の経営管理	日本企業がどのように経営管理を実践しているのか、その変遷と現状について理解できるようにする。	2	2			◎		◎		○		○		◎	
45302	経営情報論	企業の組織と情報	企業の組織現象を情報に注目して理解する。	2	2			△		◎		○					○
45303	経営戦略論	企業経営と戦略	企業経営における戦略の役割と経営戦略について理解する。	2	2			○		◎						△	
45304	マーケティング論	マーケティングの考え方や基礎理論を学ぶ。	企業のマーケティング活動について、基本的な理解ができるようになる。	2	2			◎		◎						◎	○
45306	生産システム論	生産システムの概念を総合的視点から普及しながら、次世代へつなげる知的生産システムの基礎理論・手法について講義する。	1. 生産システムの概念と原理について、理解できるようにする。 2. 次世代生産システムの実現のために求められる条件について講義できるようにする。	2	2			○		◎						○	
45306	経営工学	生産システムの運営に関わる生産管理の考え方や技法について講義した上、その実例を紹介する。	1. 生産管理の概念と基礎知識について、理解できるようにする。 2. 生産管理の抱えている諸問題を明らかにした上で、その解決のための基本的な考え方や方法論について講義できるようにする。	2	2			○		◎						○	
45307	情報分析論	情報(データ)分析の方法論	情報分析のための統計的データ解析に基づいた方法論を学ぶ。	2	2			○		◎						○	◎
45308	簿記会計論	簿記・会計基礎	伝統的様式簿記策議の構造と機能を理解する。	2	2			◎		○							
45309	現代会計論	会計モデルの記述・分析	現行会計モデルの理論的枠組み、特徴、および問題点を理解する。	2	2			◎		○							
45310	財務会計論	財務諸表の構造的理解	会計情報の外部利用者として、財務諸表の情報内容について構造的に理解できるようにする。	2	2			○	◎	△	◎	△					△
45311	財務分析論	財務諸表に基づく経営分析	会計情報の外部利用者として、財務諸表に基づく経営分析が実行できるようにする。	2	2			○	◎	△	◎					○	○
45312	管理会計論	企業および組織の活動をコントロールするために使われる計数的手段	管理会計が、何によって、誰のために何をやるのかということが理解できるようにする。	2	2			○	◎		◎						
45313	証券市場論	証券市場論、株式会社論	主要国(オランダ、イギリス、アメリカ、日本)の証券市場創成史、国民経済と証券市場との関係について一連し理解する。	2	2			○	○	○	○	△			○	△	△
45314	証券論	証券市場論、株式会社論	有価証券(株式、債券)と企業金融について理解を深める。また、発展学習である敵対的買収と買収防衛策についても一連し理解する。	2	2			○	○	○	◎	△			○	△	△
45315	コーポレートファイナンス	コーポレート・ファイナンス	ファイナンスに関する基本的な知識や概念を学習等を通して体系的に身につけることを目的としている。	2	2			○	○							○	

